

## 聞えるかい？聞こえるよ！

## 聞こえる会



▲会議室で文章を確認しながら録音作業をするメンバー

**声**を通じて、目の不自由な方にまちの情報を伝えていくボランティアグループ「聞こえる会（藤岡眞美会長）」。視覚に障がいのある方から「広報誌などの情報を知りたい」という切実な思いがきっかけとなり、社会福祉協議会の職員をはじめ、市職員などの有志が集まり、平成3年から活動が始まりました。市の広

報誌や議会だより、社会福祉協議会が発行している社協だよりの内容を抜粋し、その情報を音声化する「音訳」を行い、録音したCDを利用者へ送ること。会の活動拠点となる地域福祉センターいちいに、それぞれが仕事を終えた後に集まり、月2回程度の録音作業を行っています。

現在活動する会員は6人で、読む人や読み間違いがないかチェックする人など役割を分担し、1回に2時間程度かけて声を録音。「読むときは、聞いている人の顔を思い浮かべながら、できるだけ聞きやすくするよう心掛けています」と話す藤岡会長。ページごとに読む担当を決め、読み終えた後には、それぞれが聞き手に対して近況など一言メッセージを入れたり、設立当



▲期間の過ぎたイベントなどの情報を抜いて録音する配慮も

初からテーマソングを挿入するなど、少しでも聞き手が楽しめるような工夫もされています。

また、年に1回は利用者との交流会を開催し、その場で利用者からの要望などを受けたり、過去には温泉での交流会や音訳の研修会などにも参加しています。

別の町に引っ越しても、会の音訳CDがほしいという方もいるそう。「聞く人が、少しでもうれしいと思ってくれたらという気持ちで、活動を続けています」と、作業に集まったメンバーは声を揃えます。

会で作成しているCDを利用されている人は、現在6人。「私たちがこのような活動をしていることを知らない人は多いと思います。もし、利用したいと思う方がいたら、ぜひ連絡してほしい」と今後も声を通じて、聞こえる会は、富良野の情報を発信していきます。

「聞こえる会」が作成しているCDの試聴を希望される方は社会福祉協議会へお問い合わせください。

問 社会福祉協議会

☎ 39・2215